



中山間地域での自動運転実証実験が道の駅「にしかた」よりスタート

国土交通省による「中山間地域における「道の駅」等を拠点とした自動運転サービス実証実験（地域指定型）」の全国初となる実証実験が、栃木県栃木市 道の駅「にしかた」において、2017年9月2日～9月9日の期間、実施されております。9月2日に道の駅「にしかた」多目的広場にて開催されました実験開始式には当社も参加いたしました。

全国の道の駅のほとんどは郊外につくられています。このような地域の多くは高齢化が進み、移動手段や物流の確保などが課題となっています。運転免許証の返納やバス路線の廃止などにより、高齢者の皆様が市街地の病院や買い物などに通い辛くなる中、道の駅と集落をつなぐ自動運転車の運行は一つの解決策となり得るとみられています。

9月2日には自動運転サービスの実証実験開始前に開会式と試乗会が行われ、国土交通大臣 石井啓一氏、経済再生担当大臣 茂木敏充氏が参加されました。



国土交通大臣 石井啓一氏が当社の自動走行実証実験車両を見学されました。



今回の実験では、株式会社ディー・エヌ・エー提供の車両（左上）が使われました。同会場には、実際の走行実験車両のほか、他地区にて使用する先進モビリティ株式会社（左下）、ヤマハ発動機株式会社（右上）、当社（右下）の実験車両も展示されました。

※当社は、島根県道の駅「赤来高原」を拠点とする実証実験での走行を予定しております。